

戸別受信機を更新しています 未更新の方は2月末までに連絡を

町では令和4・5年度の2か年で皆さんの自宅などに設置している「戸別受信機」の更新を行っています。

まだ更新されていない方は、2月末までに右記へご連絡をお願いします。また、更新した受信機で『放送が入らない・途切れる』などの不具合が生じた場合も右記までご連絡をお願いします。

【戸別受信機のメンテナンスのお願い】

新型受信機は乾電池切れが近づくと交換アナウンスが流れます。その際は各自電池交換をしてください（交換頻度：年1回程度）。

▼お問い合わせは、総務・防災課防災・デジタル推進室（7-2111）へ。

〈旧型受信機〉



〈新型受信機〉



○ 駒ヶ岳火山観測情報 ○

令和5年12月に観測された駒ヶ岳の状況についてお知らせします。

- 全 般 火山活動は山頂火口原の浅い部分で、やや活発化の傾向にあり、今後の推移に注意は必要ですが、噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）に変更はありません。
- 噴煙活動 山頂の監視カメラで、昭和4年火口のごく弱い噴気を観測する日が時々ありました。噴気活動は、引き続き低調な状態です。
- 地震活動 火山性地震は山頂火口原の地下1キロ以内で、12月7日に一時的に増え、その後1日に1回程度の頻度で、低周波の振幅の小さな地震が続いています。火山性微動は観測されていません。
- 地殻変動 G N S S 連続観測では、おおきな地殻変動は認められませんが、統計的には、2022年頃から山頂付近のわずかな膨張を示すと考えられる変化が、一部で認められました。
（G N S S 観測：G P S 含む衛星測位システムの総称）

※北海道駒ヶ岳の噴火警戒レベルに応じた火山活動の状況と住民の対応基準については、すでに配布している「北海道駒ヶ岳火山防災ハンドブック」14ページを確認してください。

- ①詳細は札幌管区気象台ホームページでも閲覧することができます。
<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>
- ②気象庁ホームページに駒ヶ岳の火山観測データが掲載されています。火山活動状況などの把握にご利用ください。
<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/open-data/open-data.php?id=113>